



# 農地の荒廃化対策は

林 久光 議員

答 農地保有合理化法人で対応

**林** 農業従事者の衰退で耕作放棄地が増加している。これは、農地の活用が行われていないことにも要因がある。農地の個人どうしの貸借はむづか

しく、農業委員会の中に農地銀行を設置し、積極的に優良農地の活用をはかつてはどうか。  
**市長** 農地保有合理化法人の設立を目指して、県

や農協と具体的な協議を進めている。この法人を設立することにより、本市が貸手と借手の仲介役となり、両者があんしんして農地を貸借できるよ

うになる。  
**林** 農地銀行については、農業委員会との連携を図りながらこの法人で取り組みたい。  
又、本市では、農業振興地域の整備計画の見直しを行い、実態調査の上農地の流動化を図り、農家経営に展望が開けるよう

に考えている。  
**市長** 提案制度は実施していない。職員の行政意識の向上と行政事務の能率的運営に寄与するため、適材適所配置、提案制度を構築できればと考えています。



▲ 多くなった荒廃農地

**林** 農業振興地域内の遊休農地の割合はどの程度か。又、遊休農地所有者の今後の利用計画等の調査はされているか。  
**市長** 前年度末で、51%が遊休となっている。

# 下水道事業を問う

野崎 剛睦 議員

答 完成まで134億円を要する



▲ 整備が進む下水道工事

新庁舎建設等の課題

**野崎** 厳しい財政下で喫緊の課題、新市庁舎建設と継続工事中の公共下水道事業について質問します。  
**市長** 昨年5月に新市庁舎建設等検討本部会議を立ち上げ

- ① 新市庁舎を建設
- ② 旧県大柿合同庁舎を利用
- ③ 現庁舎・支所を改修

の3案に分けて、経費を積算中です。その結果と財政を見て検討します。  
現在、公共下水道の普及率は、農業集落排水事業を含めて47%です。

今後、完成まで134億円の費用と平成30年代半ばまでの期間を要する見込みです。  
**野崎** 下水道事業で本市が破産しないか心配である。

**土木建築部長** 同事業は、財政をにらみながら時間をかけてでも完成させたい。しかし、市街地から離れて効率の悪い所は、戸別で処理する対応も考えていきます。

住民の要望工事

**野崎** 安全・安心と快適な生活のために、地域住民から要望する工事は、優先して行って欲しい。  
**市長** 地域からの要望は、すべて応えたいが財政からして難しい。選択と集中により、どこが一番大事なのかを考えて、やらなければならない所はやる、スタンスを持っています。

**土木建築部長** 限られた予算内で、要望に添えられないところも多くあるが、積み残したものは、次年度以降に工事できるような努力をします。  
法定外公共物改修の補助金制度について  
**野崎** 同補助金制度は、有意義な市条例です。これの拡充を!!  
**市長** 予算増額の必要が生じたときには、補正予算を考えます。

ただし、一件あたりの工事金100万円と補助率70%は、現行のままで良いと考えています。



# バランスシートの整備を

太刀掛 隼則 議員

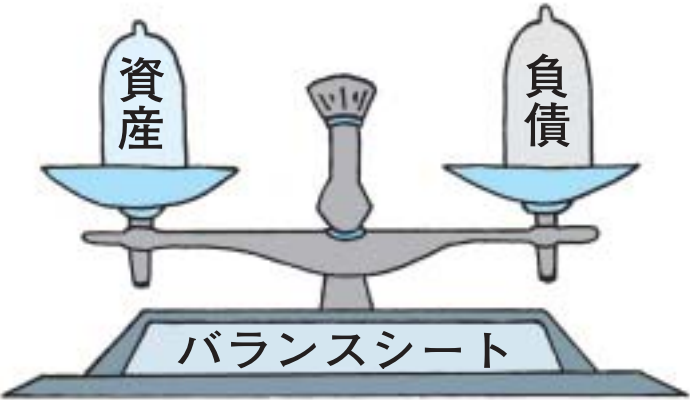
答 国の指針を待つて

**太刀掛** 普通会計のみならず公営企業・特別会計を含む地方公共団体の財務書類、公社や第3セクターを含む連結の財務書類の整備が重要でありま

**市長** 現在、新地方公会計制度研究会におきまして、バランスシートなどの財務諸表の作成・公開について調査研究が進められております。

その公表時期は、市町村及び人口3万人未満の市については平成23年秋が予定されております。責任説明・作成設計の面からもバランスシートなどの財務諸表、作成配備については、益々その必要があると思われま

す。消費的ではありません。今後、国の方針や動向を踏まえながら、新方式による財務書類の作成や資産評価に対する実質的な指針の通知を待つてから着手してまいります。



なる。期待できます。バランスシートの作成公表に取り組んではいか